

記録表 発行日	元年 6月 18日	検印
注番	K - 1564	

(自走式)土質改良機
CJ受入40項目検品表

中京重機株式会社
 ☎ 465-0057 愛知県名古屋市長東区陸前町1705
 サービス部 フィールドサービスグループ
 TEL : 052-701-5191 / Fax : 052-701-5193

メーカー名	日立建機	型式	SR-G2000	機械所有者	様
製造(シリアル)番号	#214	アワメーター	7,317Hr	検査年月日	2019年 6月 17日 (月)
エンジン型式	6BG1	検査者名	柴山	検査実施場所	本社内 日進ヤード ()
エンジンシリアル	67620	特自検	特自検ステッカー(有) 無 / 点検日 2013年 10月 / 点検者 日立建機日本		

※ エンジン始動後、ローアイドリング(低速回転)にして、無負荷運転を約5分間実施の事

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考		
エンジン	1	本体	a. 始動/停止性	かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動、ソレノイド	目視 or 操作 or 聴診	A B (C) D E		
			b. 回転の状態	アクセルの作動、回転具合		A B (C) D E		
			c. 排気の状態	排気色、排気音、吹き返り、マフラー外観の欠陥によるガス漏れなど		A B C D (E)	要交換または修理	
			d. ブローパイプ	漏れ具合、漏出量		A B (C) D E		
			e. エアークリーナー	ケースの亀裂、変形、エレメントの汚れ、損傷		A B C D (E)	エレメント汚れ	
			f. 過給機(ターボ)	異常振動、ガス漏れ、潤滑油漏れ		A B (C) D E		
			g. エンジン圧縮	エンジン内部コンプレッション圧計測		測定器を使用して 測定	A B (C) D E	25 Mpa
			h. 背圧	ブローパイプ量の計測		測定器を使用して 計測	A B C D E	0.7 L/min
	2	潤滑装置	油量(汚丸、白濁(油漏れ)、エレメントの汚れ(滲み)、損傷)	目視	A B C D (E)	ゲージ		
	3	燃料装置	燃料しみ漏れ、詰まり	(目視) or 触診	A B (C) D E			
	4	燃料タンク	ドレンコックから水抜き実行、燃料の汚れ具合	(目視)	A B (C) D E	錆びあり・要清掃		
	5	燃料油種	(軽油 ・ 灯油 ・ A重油 ・ 茶灯油)	目視 or 嗅診				
	6	冷却装置	a. クーラント	水量、濃度、汚れ (サブタンク水量: 満・中・少・無)	(目視) or (触診)	A B (C) D E	クーラント濃度 30 %	
			b. 水漏れ	ウォーターホース、ドレンバルブ、キャップ機能チェック		A B (C) D E		
c. ラジエータ			外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、水漏れ	A B C D (E)		要清掃		
d. オイルクーラー			外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、オイル漏れ	A B C D (E)		要清掃		
e. ベルト/ウォーターポンプ			たわみ(摩擦)損傷、ガタの有無と程度	A B C D (E)		要交換		
f. 水温計			正常(適温)表示	(目)		不良		
g. その他			ファンカバーやダクトの亀裂有無・損傷及び変形など	A B (C) D E				
7	電気装置	オルタネータ機能、バッテリー液量、ターミナル緩み、リレ状態腐食 搭載バッテリー型式 ⇒ [130F51]	目視 or 触診 or (電圧計)	A B (C) D E	電圧 約 27 V(ボルト)			
走行装置	8	走行コントロール	前後発進停止、左右操舵(有無)操縦リモコン同様	(操作)	A B (C) D E			
	9	起動輪 ・ 遊動輪	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ、油漏れ	(目視) or (聴診) or 探傷計	A B (C) D E			
	10	上部ローラー ・ 下部ローラー	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ	(目視) or 触診	A B (C) D E			
	11	履帯	(シュー)クラック、変形、摩耗、シューボルト・ナット取付緩み、リンク・ブッシュクラック/欠け、ヒッチ伸び、たわみ、固着	目視	A B (C) D E			
	12	履帯調整装置	作動、調整ボルト損傷、変形、腐食、摩耗、シリンダー油漏れ	(目視) or 操作 or 探傷計	A B (C) D E			
	13	走行減速機	油量、異音、異常発熱、ケースクラック、損傷、油漏れ ※減速機の油量チェックは必須の事	(目視) or 聴診 or 触診	A B (C) D E			
作業装置	14	ふるい部 投入ホッパ部	a. ホッパ	凸・凹状態、摩耗状態、クラック・補強の有無	(目視)	A B C D (E)	ヘコミあり	
			b. スクリーン	凸凹曲がり状態、穴あき、補強の有無	目視	A B C D E		
			c. スクリーンモータ	異音、異常発熱、油漏れなど	目視 ・ 触診	A B C D E		
			d. 無線リモコン [有 ・ 無]	電源の状態、電池の有無、操作状態など	操作		操作可 ・ 操作不可	
			e. スクリーン角度調整 [有 ・ 無]	固着の有無など	目視	A B C D E		
	15	投入コンベアフィーダ	ベルト状態、張力の緩み、フレムの損傷、送りローラの固着有無	目視 ・ (操作)	A B C D (E)	キャリアローラ固着、ベルト亀裂		
	16	振動ゲート・均し掻き出しローラ	ローラの作動状態、可動状態など	目視 ・ (操作)	A B C D (E)	異音、ベアリング要交換		
	17	混合部	a. 固化剤ホッパ	凸・凹状態、摩耗状態、クラック・補強の有無	目視	A B (C) D E		
			b. 固化剤スクルーフィーダ	固着の有無(固化剤の排出の可否) ※土砂と固化剤が混ざる「混合室」へ排出されているかどうか	目視 ・ (操作)	A B C D (E)	固化材詰まり、作動不能	
			c. 混合機	パドル・ソイルカッタ、ロータリハム摩耗状態、作動状態	目視	A B C D E		
	21	排出コンベア	ベルト状態、張力の緩み、フレムの損傷、送りローラの固着有無	目視 ・ (操作)	A B C D (E)	キャリアローラ固着		
	22	作業記録計	出力装置の有・無、記録紙出力の可否	目視 ・ (操作)	A B (C) D E			
23	操作盤、操作モニタ	操作ボタンの欠損、モニタ表示不良・破損、操作の可否	目視 ・ (操作)	A B (C) D E				
24	排出コンベア	ベルト状態、張力の緩み、フレムの損傷、送りローラの固着有無	目視 or (操作)	A B (C) D E				
25	各種センサ	各部センサ(コンマス等)の作動状態、不良の有無など	操作	A B C D E				
26	クレーン	ワイヤ、乱巻、操作不良(有無)リモコン操作も同様など	(目視) ・ (操作)	A B C D (E)	ワイヤーキンク錆び			

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考	
油圧装置	27	作動油タンク	残油量(適量・中・少・無)、ゲージの汚れ	目視	A B C D E	要補充	
	28	コントロールバルブ	油漏れ、異音	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E		
	29	油圧メインポンプ	油漏れ(本体/サクシオンホース付近)、異常振動、異音	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E		
	30	コンベアモータ(ブリーモータ含)	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視 or 触診	A B C D E		
	31	油圧ホース類	接続、カシメ部の漏れ滲み、損傷、劣化、摩耗	目視 or 触診	A B C D E		
油圧装置	32	油圧シリンダ	スタリオン昇降シリンダ クレーンブームシリンダ	自然沈下、油しみ漏れ、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E	左油漏れ、右シール脱落
				自然沈下、油しみ漏れ、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E	クレーン旋回輪がタ
安全装置・車体関係等	33	昇降設備	亀裂、損傷、変形、取付ガタ	目視	A B C D E		
	34	灯火装置、警報器	作動状態、取付ガタ、レンズ破損、浸水	目視 or 操作	A B C D E	スイッチボタン欠損、バルブ切れ	
	35	回転/警告灯 [(有) ・ 無]	作動状態、取付ガタ、レンズ破損	操作	良 (不)	レンズ汚れ(赤、黄)	
	36	セキュリティ	イモビライザー、電子Key、隠しスイッチ、パスワードなど	操作	有 (無)		
	37	反射鏡、(後写鏡)	汚れ、損傷、破損	目視	A B C D E	ステー曲がり	
	38	給油脂	オートグリス装置、給油脂状態	目視 or 操作	A B C D E		
	39	エアコンプレッサ	作動状態、ホース有無	目視 or 操作	A B C D E	少し圧力低い(ゲージ見えない)	
	40	レバー類	グリップ状態、変形、損傷	目視 or 操作	A B C D E		
	41	非常停止装置	作動状態	操作	良 不良		

実機機械状態から具体的な検査結果報告(特記事項がなければ未記入で可)を記載の事

No. 1
No. 2
No. 3
No. 4
No. 5
No. 6
No. 7
No. 8
No. 9
No. 10
No. 11
No. 12
No. 13
No. 14
No. 15
No. 16
No. 17
No. 18
No. 19
No. 20
No. 21
No. 22
No. 23
No. 24
No. 25
No. 26
No. 27
No. 28
No. 29
No. 30
No. 31
No. 32
No. 33
No. 34
No. 35
No. 36
No. 37
No. 38
No. 39
No. 40
No. 41

備考 1. 検査結果を評価欄の5段階評価(A~E)の中で該当する程度・状態を○で囲む。
2. 5段階評価の検査結果に異常(D・E)があった場合には、上記の該当番号欄へ推測される具体的な不具合状態を記入の事。

概要評価基準	個別評価基準(残存率による評価の場合は%を参照)
A: 新品に近く非常に良好な状態の場合	A: 新品に近く非常に良好な状態の場合 / 100~90%
B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合	B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合 / 90~70%
C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合	C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合 / 70~40%
D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合	D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合 / 40~20%
E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合	E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合 / 20~0%

エンジンオイル、エレメント交換
エアーエレメント交換
燃料エレメント交換
エンジンファンベルト交換
エンジンアクセルワイヤー固着の為交換
固化材フィーダースクリュー固着不動修正
投入フィーダーキャリアローラー固着部交換
揺動ゲートベアリング交換 ガタ修正
ベルコンローラー固着箇所交換
混合室清掃ゲートシリンダー片側漏れ修理
クレーンワイヤー交換
クレーン旋回ガタ修正
回転灯交換
ミキサーパドル全交換
各部カバー類板金
全塗装
各部グリースライン点検グリスアップ

※着手後に内容が追加や変更となる場合がございます。

